

世界遺産と文化財

世界遺産と文化財



ミュージアム連続講座 2019

全三回

今年のミュージアム連続講座は「世界遺産と文化財」をテーマに開催します。7月、百舌鳥・古市古墳群が大阪府内では初めて世界文化遺産に登録されました。この講座では、同古墳群やそれに関連する平野区長原遺跡について紹介します。さらにヨーロッパなどの世界遺産や大阪府内の来訪神について取り上げ、国宝に指定されている貴重な文化財についてもお話します。

日程：2019年12月5日(木)・12日(木)・19日(木) **時間**：18:30-20:15 (18:00開場)

定員：70名 **参加費**：無料 **会場**：大阪市立難波市民学習センター 講堂

申込方法：裏面をご参照のうえ、事前にお申込みください。※定員になり次第、締切ります。3回通しのお申込みになります。



2



3



4



5



6

写真1：能勢のキツネガエリ 1964年(三村幸一撮影) 大阪歴史博物館蔵/写真2：前田藤四郎《ベルセポリス》(原画部分) 1975年 大阪中之島美術館蔵/写真3：「ストーンヘンジ河畔プロジェクト」による調査の一コマ/写真4：大仙古墳(画像提供) 大阪市文化財協会/写真5：馬形埴輪 5世紀 大阪市文化財協会保管/写真6：国宝「油滴天目」南宋時代・12-13世紀 大阪市立東洋陶磁美術館蔵 写真：六田知弘

主催 地方独立行政法人 大阪市博物館機構、公立大学法人 大阪 大阪市立大学、一般財団法人 大阪市文化財協会、大阪市立難波市民学習センター(指定管理者：大阪教育文化振興財団・SPS 共同事業体)

世界遺産と文化財

会場：大阪市立難波市民学習センター 講堂

2019年12月5日(木)

第1回

①「国宝の陶磁器

— 油滴天目と飛青磁花生を中心に —

— 大阪市立東洋陶磁美術館 学芸員 小林仁

国宝とは文化財保護法により定義された「有形文化財」のうち「世界文化の見地から特に価値の高いもの」として国が指定したものです。現在、陶磁器の国宝は14点を数えます。本講座では、大阪市立東洋陶磁美術館が所蔵する油滴天目と飛青磁花生という2点の中国陶磁の国宝を中心に、陶磁器の国宝の魅力とその意義について紹介します。

国宝 油滴天目茶碗 南宋時代・12-13世紀 大阪市立東洋陶磁美術館蔵
写真：六田知弘



②「訪れる神と人びと」

— 大阪歴史博物館 学芸員 澤井浩一

世界遺産登録された来訪神は、人々が住むムラを訪れ、畏怖や祝福・豊穡を与えて去っていきます。カミがあこの世とこの世を去来する信仰の一形態ですが、他界観とも関係し、各地に様々な姿で伝承されてきました。ここでは日本の来訪神を概観しつつ、大阪府内の事例を紹介します。



能勢のキツネガエリ 1964年(三村幸一撮影) 大阪歴史博物館蔵

2019年12月12日(木)

第2回

①「古市・百舌鳥古墳群の歴史的意義」

— 大阪市立大学大学院文学研究科 教授 岸本直文



大仙古墳 (画像提供) 大阪市文化財協会

「古市・百舌鳥古墳群」が世界遺産に登録されました。この間、地元での調査の進展、調査成果の公開、普及事業の活発化などが大きく進みました。改めて、5世紀代を中心とする古市・百舌鳥古墳群の基本的な理解、大仙古墳の位置づけ、さらに、巨大な墳墓を造営した古墳時代の特質について考えてみたいと思います。

②「倭五王を支えた人びと

— 平野区長原遺跡から —

— 一般財団法人大阪市文化財協会 学芸員 清水和明

平野区長原遺跡では、古墳時代の5世紀を中心とした集落と古墳群が広がっていました。その消長は百舌鳥・古市古墳群と密



接な関係があり、大王を核とした巨大古墳の被葬者を頂点とする倭王権を支えた人々といわれます。かれらの出自や生業、密集した古墳群の特徴などからその性格に迫りたいと思います。

馬形埴輪 古墳時代(5世紀) 大阪市文化財協会保管

第3回

2019年12月19日(木)

①「世界遺産にみる 英国の先史時代」

— 大阪市博物館機構 学芸員 岡村勝行

英国には30を超える世界遺産があります。このうちストーンヘンジを含むウィルトシャー州に広がる巨石建造物、墳墓や、北端の島オークニー島の新石器時代の集落遺跡スカラブレなど、先史時代の代表的な遺跡を紹介し、英国考古学の魅力に迫りたいと思います。



「ストーンヘンジ河畔プロジェクト」による調査のコマ

②「旅する芸術家と世界遺産

— 大阪中之島美術館コレクションより —

— 大阪中之島美術館準備室 学芸員 清原佐知子

2021年度に開館予定の大阪中之島美術館は、すでに5700点を超える作品を収蔵しています。このレクチャーでは所蔵作家の中から、世界中を旅して創作の糧とした二人の芸術家、前田藤四郎(版画家)と棚橋紫水(写真家)を取り上げ、彼らによる世界遺産のイメージとともに紹介します。



前田藤四郎 《ペルセポリス》(原画) 1975年 大阪中之島美術館蔵

大阪市立難波市民学習センター

<https://www.osakademanabu.com/namba/>

申込方法・問い合わせ先

〒556-0017 大阪市浪速区 湊町1丁目4番1号 OCATビル4階 TEL 06-6643-7010

インターネット

大阪市生涯学習情報提供システム「いちようネット」(<https://www.manabi.city.osaka.lg.jp/>)から、「講座・イベント」を選択し、キーワード欄に「ミュージアム連続講座」と入力検索のうえ、お申込みください。

センター来館

「大阪市立難波市民学習センター」の窓口にてお申込みください。開館時間 9:30~21:30(日曜・祝日17:00) 休館日 毎月第1・3水曜日



●Osaka Metro(白)：市営地下鉄各線「なんば駅」南海電車「難波駅」近鉄「阪神電車」大阪難波駅よりなんば駅までOCATウォークを西へ「OCAT」JR線の表示に沿ってお越しください。●JR「JR難波駅」すぐ。●大阪シティバス「市バス」JR難波駅前下車すぐ。

【個人情報の取扱いについて】■ご記入いただきました個人情報は、講座ご参加の確認や、講座に関するご連絡のためにのみ使用いたします。お申込みいただいたことをもって、同意されたものとさせていただきます。■事業者：大阪市 ■ご記入いただきました個人情報は、セミナーの開催・運営に必要な範囲において、個人情報の全部または一部を預託・共同利用する場合があります。(共同利用者の範囲：一般財団法人大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体(指定管理者)) ■個人情報の取り扱い、苦情及びご相談に関するお問い合わせ先：個人情報保護管理者代理人 一般財団法人 大阪教育文化振興財団 総務課長 宛 TEL:06-4963-2527(月~金 10:00~17:00) 【講座の開催中止について】台風接近、地震等により災害等が発生する恐れ、または災害等が発生した場合、次のとおり本講座の開催を中止いたします。開催当日午後4時の時点で、「大阪市」に「暴風警報」「特別警報(種類は問わない)」が発令されている場合、もしくは、地震・災害等によりJR大阪環状線、及びOsakaMetroの双方が運休している場合。